



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月14日
東

上場会社名 株式会社アデランス 上場取引所
コード番号 8170 URL <http://www.aderans.com>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 根本 信男
問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 IR担当 (氏名) 高橋 道義 (TEL) (03) 3350-3268
四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	58,862	5.0	△484	—	168	△96.3	△474	—
27年2月期第3四半期	56,050	15.9	1,399	△25.4	4,485	57.7	4,117	39.2

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △1,665百万円(—%) 27年2月期第3四半期 1,684百万円(△40.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△13.59	—
27年2月期第3四半期	114.83	112.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	69,644	35,898	51.0
27年2月期	72,448	37,142	50.9

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 35,493百万円 27年2月期 36,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	4.3	△800	—	△700	—	△1,500	—	△42.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	37,246,388株	27年2月期	37,246,388株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	2,382,870株	27年2月期	2,301,150株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	34,935,484株	27年2月期3Q	35,858,639株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策や金融緩和を背景に、円安や株高が継続し、企業収益や所得環境の改善など緩やかな回復基調にあるものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動による節約志向や、円安による物価上昇への懸念なども影響し、景気は限定的な回復に留まりました。

このような状況下、当社グループは、経営ビジョン「グッドカンパニーの実現」を目指し、「CS（お客様の満足）」、「ES（社員の遣り甲斐）」、「CSR（企業の社会的責任、社会からの信頼）」の三方よし経営を基本方針として、企業価値の向上に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、588億62百万円（前年同期比5.0%増）、アデランス事業の女性売上、フォンテーヌ事業の売上が減収となったことや、中長期成長を見据えた医療事業、GMSを中心とした店舗展開に伴う人件費などの増加により、営業損失4億84百万円（前年同期は営業利益13億99百万円）となりました。為替差益の計上などにより経常利益は1億68百万円（前年同期比96.3%減）、固定資産の減損損失の計上などにより四半期純損失は4億74百万円（前年同期は四半期純利益41億17百万円）となりました。

また、当社グループの経営指標として重要視しております連結EBITDA(※)は、30億64百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

(※)連結EBITDA=連結営業利益+減価償却費等+のれん償却額

報告セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①アデランス（オーダーメイド）事業

男性売上は、効率的な広告宣伝や来店促進のためのキャンペーン施策、お客様の定着促進の活動などを実施しましたが、各施策の効果が限定的となり、前年同期比で微減となりました。女性売上は、昨年の消費税増税の駆け込み需要による反動に加えて、低価格帯のウィッグを取扱う異業種の参入や競合他社の増加、更に消費行動の変化などにより、反響営業や展示会営業に影響が出たため、前期比で減収となりました。その結果、アデランス事業の売上高は205億67百万円（前年同期比6.5%減）となりました。営業利益は広告宣伝費などの経費削減に努めましたが減収分を補えず、36億6百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

②フォンテーヌ（レディメイド）事業

GMSにおいて、店舗数の増加により売上を伸ばしたものの、百貨店・直営店において、昨年の消費税増税の駆け込み需要の反動ならびに、アデランス事業同様に低価格帯のウィッグを取扱う異業種の参入や競合他社の増加などの影響を受けたことにより、フォンテーヌ事業の売上高は60億39百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は減収と出店に伴う人件費などが増加したことで、1億28百万円（前年同期比90.7%減）となりました。

③ボズレー（ヘアトランスプラント）事業

ボズレー事業の売上高は、店舗の新規出店やTVCMの問い合わせならびに、施術数が増加したことで、売上高は89億70百万円（前年同期比18.7%増）と増収となりましたが、広告宣伝費ならびに人件費が増加したことから、営業利益は2億41百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

④海外ウィッグ事業

欧米、中国ならびに東南アジアで展開している海外ウィッグ事業の売上高は、米国市場ではHC社、AHG社が順調に売上を伸ばし、さらに欧州市場では小売店の買収や医療用ウィッグの販売が堅調に推移したことから、売上高は212億41百万円（前年同期比21.9%増）となりました。営業損益はのれんと無形固定資産の償却負担があり、7億88百万円（前年同期7億2百万円の営業損失）の営業損失となりました。

⑤その他事業

成長基調にあるECリテール事業、医療事業は増収となりましたが、美材ルート事業においてもアデランス事業、フォンテーヌ事業同様、競争激化により苦戦しました。その他の事業区分の売上高は20億43百万円（前年同期比1.7%減）、営業損失は3億66百万円（前年同期3億8百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券(7億49百万円増)や商品及び製品(9億17百万円増)等が増加したものの、現金及び預金(38億31百万円減)の減少等により、前連結会計年度末に比べ28億4百万円減少し、696億44百万円となりました。

負債は、長期借入金(9億24百万円減)や退職給付に係る負債(7億84百万円減)の減少等により、前連結会計年度末に比べ15億59百万円減少し、337億46百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ12億44百万円減少し、358億98百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年4月14日公表の業績予想を修正しております。

詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が889百万円減少し、利益剰余金が889百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,558	10,727
受取手形及び売掛金	6,952	6,465
商品及び製品	5,068	5,985
仕掛品	297	242
原材料及び貯蔵品	1,198	1,119
繰延税金資産	2,579	2,371
その他	2,469	3,018
貸倒引当金	△286	△336
流動資産合計	32,837	29,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,210	5,057
土地	3,434	3,433
リース資産(純額)	1,690	2,142
その他(純額)	2,535	2,591
有形固定資産合計	12,871	13,225
無形固定資産		
のれん	7,027	7,167
顧客関連資産	7,743	6,859
その他	6,205	5,703
無形固定資産合計	20,977	19,730
投資その他の資産		
投資有価証券	1,344	2,094
繰延税金資産	77	85
退職給付に係る資産	6	5
敷金及び保証金	3,484	3,966
その他	1,362	1,392
貸倒引当金	△513	△449
投資その他の資産合計	5,762	7,095
固定資産合計	39,611	40,051
資産合計	72,448	69,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,437	1,425
1年内返済予定の長期借入金	1,232	1,232
未払金	1,908	1,526
未払法人税等	602	38
繰延税金負債	7	7
前受金	2,313	2,459
賞与引当金	1,124	650
商品保証引当金	117	122
返品調整引当金	152	336
その他の引当金	10	7
その他	3,591	4,430
流動負債合計	12,496	12,238
固定負債		
新株予約権付社債	10,045	10,038
長期借入金	2,768	1,844
リース債務	1,308	1,603
繰延税金負債	4,712	4,647
退職給付に係る負債	1,957	1,172
資産除去債務	1,477	1,572
その他	539	629
固定負債合計	22,809	21,508
負債合計	35,306	33,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,944	12,944
資本剰余金	13,157	13,157
利益剰余金	17,378	17,264
自己株式	△4,282	△4,353
株主資本合計	39,198	39,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	53
為替換算調整勘定	△2,164	△3,427
退職給付に係る調整累計額	△206	△145
その他の包括利益累計額合計	△2,327	△3,518
新株予約権	270	402
少数株主持分	1	2
純資産合計	37,142	35,898
負債純資産合計	72,448	69,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	56,050	58,862
売上原価	11,209	12,297
売上総利益	44,841	46,565
販売費及び一般管理費	43,442	47,050
営業利益又は営業損失(△)	1,399	△484
営業外収益		
受取利息	12	18
受取配当金	2	4
不動産賃貸料	43	34
為替差益	3,204	484
その他	88	300
営業外収益合計	3,351	843
営業外費用		
支払利息	149	53
不動産賃貸費用	11	10
支払手数料	16	—
持分法による投資損失	13	—
社債発行費	26	—
その他	47	127
営業外費用合計	264	190
経常利益	4,485	168
特別利益		
固定資産売却益	196	0
特別利益合計	196	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	3	21
減損損失	—	194
事業再編損失	112	—
店舗閉鎖損失	40	30
その他	—	13
特別損失合計	157	260
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	4,524	△92
法人税等	406	382
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	4,117	△474
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,117	△474

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	4,117	△474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	10
為替換算調整勘定	△2,480	△1,258
退職給付に係る調整額	—	61
持分法適用会社に対する持分相当額	34	△4
その他の包括利益合計	△2,433	△1,191
四半期包括利益	1,684	△1,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,684	△1,665
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アデランス 事業	フォンテーヌ 事業	ボズレー 事業	海外ウィッグ 事業				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,988	6,999	7,558	17,426	2,077	56,050	—	56,050
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1	2,971	2,972	△2,972	—
計	21,988	6,999	7,558	17,427	5,048	59,023	△2,972	56,050
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,702	1,375	265	△702	△308	5,330	△3,931	1,399

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美材ルート事業、医療事業、EC事業等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△3,931百万円は、セグメント間取引消去168百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,099百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アデランス 事業	フォンテーヌ 事業	ボズレー 事業	海外ウィッグ 事業				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,567	6,039	8,970	21,241	2,043	58,862	—	58,862
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	3	3,534	3,537	△3,537	—
計	20,567	6,039	8,970	21,245	5,577	62,400	△3,537	58,862
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,606	128	241	△788	△366	2,820	△3,305	△484

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美材ルート事業、医療事業、EC事業等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△3,305百万円は、セグメント間取引消去209百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,514百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外ウィッグ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては194百万円であります。